

コスト増の中、長雨と猛暑の影響で明暗

7月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

猛暑日や梅雨明けの遅れなどの影響で、商店街の客足は遠のき、食料品や生花に落ち込みが見られる。また、多くの業界で電気や燃料コストの負担感が強く、運輸業や建設業では人手不足の状況。温泉旅館では、大幅増が期待された富岡製糸場の世界遺産登録による波及効果は弱い。

製造業	食料品		パン・菓子は、暑さによる販売量の落ち込みが見られる。製麺は、長雨により荷動きが鈍く、エネルギーコストの上昇で厳しい状況が続く。酒造は、一部の企業で売上の伸びが見られるが全体的には厳しい状況である。
	繊維・同製品		婦人服地は秋冬用の生産が先月に引き続き順調に推移している。一方、輸出向けは、引き続き低調である。和装織物は浴衣関連が順調である。伊勢崎織物は閑散期だが、贈答用などの服飾工芸品の需要が高い。繊維製品は、売上が停滞し、関連業者等の経営にも悪影響が生じている。
	窯業・土石製品		生コンは、前月に続き、渋川・利根地域が好調で全体的な出荷量は前年より増加している。コンクリートブロックは、消費増税転嫁等による売上げが続くが、住宅着工数の落ち込みを不安視している。碎石は、東毛地域で増加傾向も見られるが、全体的に売上は減少傾向で収益状況も好転しない。
	機械・金属		自動車、電機ともに繁忙期で好調だが、輸送・材料コストの高騰で収益は改善しない。猛暑が続く中、電気料金の上昇を懸念している。プラスチック金型は、新規取引先との試作開発の動きがあり、今後に期待している。富士重工関連の米国進出部品メーカーは、設備を増強し増産体制を強化している。
	その他の製造業		製材は、販売単価が下落傾向で電気代等のコスト増に苦慮している。紙加工品は、東毛地区の自動車関連や、住宅関連が好調だが、回復基調とは言えず、原材料値上げの兆しを懸念している。印刷業は、受注が減少し原材料が高止まりの中、各社経費削減を進めている。ゴム製品は、企業間格差が見られる。
非製造業	卸売業		高崎卸団地は、再開発計画が進み、物販・サービス業の店舗が建設中である。前橋卸団地は、区画整理事業が動き始め、団地内の開発気運が高まる。農産物卸は、夏野菜の出荷が順調で、やや安値で推移している。水産物卸は、売上が減少傾向である。
	小売業		家電小売は、夏物商品や白物商品の売行きが好調である。中古車オークションは苦戦するも、当初予想した程の落ち込みは見られない。ガソリン小売は、前月より仕入価格が値下りしたものの、販売価格は高値推移で販売量は減少している。商店街・生花小売は、猛暑の影響等で客足は少なく売上不振である。
	サービス業		温泉旅館は、富岡製糸場の世界遺産登録効果による宿泊客増は見られず昨年並みに推移している。不動産取引業は、安中市内の工場増床に伴い、賃貸居住用物件の引き合いが増加している。建物設計業は、行政による新たな調査業務発注を期待している。
	建設業		総合工事業は、技術者不足による労務費高騰や工期遅延が見受けられる。電気工事業は、公共事業の受注が増加、冷房設備の新設・取替需要増も期待している。塗装工事業は、公共工事・民間工事ともに落ち着きが見られ売上が落ち込んでいる。防水工事業は入札物件が減少中、値引き要請が散見され対応に苦慮している。鉄構は、販売単価は増加傾向だが材料・人件費が上昇している。
	運輸業		猛暑で飲料水関係が好調だが、キャベツやレタスは猛暑と長雨で出荷量が減少している。また、軽油価格が高止まりで厳しい中、運賃値上げ要求はなかなか受け入れられず、人手不足も続いている。小口輸送は、自動車部品関連は好調だが食料品関連は猛暑対策に苦慮し全体的に売上高・件数ともに減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 112.4(前月比▲3.9%)「県統計課・6月」
- 販売電力量 117,222万kWh(前年同月比▲1.3%)「東電群馬支店・6月」
- 住宅着工戸数 1,013戸(前年同月比▲20.2%)「県建築住宅課・6月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.73倍・有効1.16倍「群馬労働局・6月」
- 大型小売店販売額 218億円(前年同月比▲2.0%)「経済産業省・6月」
- 消費者物価指数(全国) 103.4(前年同月比+3.6%)「総務省統計局・6月」
(鉱工業生産指数・消費者物価指数は22年=100とした指数)